

下高逃げ切り水城撃破



校歌斉唱の後、応援席に駆け寄る下高ナイン＝塚越普撮影

2年連続16強入り

2018年（平成30年）

7月18日^k
水曜日

発行所

茨城県立下妻第一高等学校

新聞部

発行人 吉田 俊 則

編集人 岩田 純 弥

下妻一	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3
水 城	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

水城が全校応援を実施し、レフトスタンドから外野席までを約1900人の水城生が埋め尽くす中、下高は攻めでは水城の投手の剛速球に苦しみられ出塁すらできない状況だったが、守りではダブルプレーなどで水城の先制点を防いだ。

4回、岡田隼樹選手（3年1組）がタイムリースリーバー

17日、ノーブルホームスタジアム水戸で行われた下妻第一高校（下高）と水城高校（水城）の試合は3対1で下高が勝利し、2年連続の16強入りを果たした。

号外

●4回戦 藤代高校と対決
同日、ひたちなか市民球場で行われた藤代高校と太田第一高校の試合は8対1で藤代高校が8回コールドで勝利した。藤代高校は過去5回甲子園に出場した県内有数の強豪校だ。4回戦は20日、ひたちなか市民球場で12時20分試合開始予定だ。（岩田純弥）

スを放って下高打線は流れを掴み始める。さらに磯貝樹選手（3年2組）のタイムリーヒットでホームに1人還しこの回2点を奪った。

その後下高は6回に1点を追加するも8回到水城に1点を奪い返される。しかし、水城にそれ以上の追加点を許さず相手打者を打ち取って逃げ切った。